



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 新田ゼラチン株式会社
 コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾形 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 長岡 令文

TEL 072-949-5381

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	23,139	13.0	1,111	20.2	1,059	33.3	600	
2020年3月期第3四半期	26,594	1.8	1,393	166.5	1,588	234.2	733	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 838百万円 (18.4%) 2020年3月期第3四半期 708百万円 (7.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	33.13	
2020年3月期第3四半期	39.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	34,062	17,858	46.7
2020年3月期	33,551	17,461	46.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 15,909百万円 2020年3月期 15,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		6.00		6.00	12.00
2021年3月期		6.00			
2021年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	8.8	1,300	23.1	1,200	33.3	800		44.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	18,373,974 株	2020年3月期	18,373,974 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	299,467 株	2020年3月期	167 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	18,117,457 株	2020年3月期3Q	18,373,811 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)における世界経済は、先進国での新型コロナウイルス感染症の再拡大による社会経済活動の停滞により、混迷の度を深めました。日本経済は、経済活動の再開や観光需要喚起策等により持ち直しつつありましたが、全国的な感染再拡大により景気は再び減速局面となり、先行きの不透明感が深まりました。

当社グループでは、引続き取引先並びに従業員の感染防止を最優先とし、いわゆる3密を回避するためテレワーク、フレックス勤務やWeb会議等を積極的に活用しつつ、生産、販売活動及び物流の維持、強化に努めました。また、コラーゲン事業を通じてアスリートをサポートしたいという想いを実現するため、2021年箱根駅伝に出場した大学駅伝部とのスポンサー契約の締結やスポーツチームへの商品提供を行いました。更にコア領域に一層注力するため、2020年11月19日には当社の完全子会社である株式会社ニッタバイオラボの吸収合併を、2020年12月17日には当社の接着剤事業(製造)を持分法適用関連会社であるボスティック・ニッタ株式会社に承継させることを決議しました。

このような状況の中、在宅勤務の定着やインバウンド需要消失により、当社グループの主要な取引先である食品業界や健康食品業界は大きな影響を受けました。また政府によるGO TOキャンペーン推進等により外食産業で回復の兆しも見られましたが、感染症の再拡大による営業時間短縮等により、再び業務用食品の需要が減少しました。当社グループにおいては、前期にコラーゲンケーシング事業から撤退した影響もあり売上高は23,139百万円(前年同期比13.0%減少)となりました。また、売上高の減少により営業利益は1,111百万円(前年同期比20.2%減少)、経常利益は1,059百万円(前年同期比33.3%減少)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は600百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失733百万円)となりました。

当社グループは、コラーゲン事業の単一セグメントであります。販売区分別の概況は次のとおりです。

(フードソリューション)

フードソリューションにおいては、コラーゲンケーシング事業撤退に伴う売上高減少に加え、日本での売上減少が影響し、売上高は減少しました。

日本では、新型コロナウイルス感染症の拡大による巣ごもり需要により、自宅での菓子づくりのニーズが高まり、家庭向け製菓・調理用ゼラチンの売上が引き続き増加しました。一方、在宅勤務の定着、外出自粛並びに外食産業の営業時間短縮などで需要の減退が継続し、外出先や移動中に食されていたグミキャンディー用途や外食産業向け業務用スープ・調味料用途並びにコンビニエンスストア総菜用途向けの売上が減少しました。

海外では、北米地域において在宅時間増加によりグミキャンディー、ゼリー菓子市場等で販売が堅調に推移しましたが、当四半期累計期間は前期のコラーゲンケーシング撤退による売上高減少が大きく影響しました。

その結果、フードソリューション全体の売上高は8,519百万円(前年同期比24.8%減少)となりました。

(ヘルスサポート)

ヘルスサポートにおいては、日本での売上が減少したものの、アジア地域での美容用コラーゲンペプチド等の販売増加が寄与し、売上高は前年同期並みとなりました。

日本では、新型コロナウイルス感染症の拡大によるドラッグストア等店頭販売の減少とインバウンド需要の消失により、美容用コラーゲンペプチド並びにカプセル用ゼラチンの売上高が減少しました。

海外では、北米地域において新型コロナウイルス感染拡大により、健康維持や予防意識が高まりソフトカプセル用ゼラチンの販売が増加した一方、店販での美容コラーゲンペプチド製品の売上は減少し、売上高が減少しました。アジア地域では機能性訴求型の美容用コラーゲンペプチドの拡販に加え、カプセル用ハラルゼラチンの売上も増加しました。また、インドでは医薬用・健康食品用カプセル向けの販売が減少しました。

その結果、ヘルスサポート全体の売上高は10,892百万円(前年同期比0.2%増加)となりました。

(スペシャリティーズ)

スペシャリティーズにおいては、包装用途での接着剤販売の減少や外出自粛による写真用ゼラチンの販売減少により、全体の売上高は3,726百万円(前年同期比15.2%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末比510百万円増加の34,062百万円となりました。主な要因は、たな卸資産が597百万円、有形固定資産が375百万円減少した一方、現金及び預金が1,477百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比113百万円増加の16,203百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が309百万円、短期借入金が184百万円及びその他の流動負債が372百万円減少した一方、長期借入金が961百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比397百万円増加の17,858百万円となりました。主な要因は、自己株式の取得199百万円に伴い減少したものの、利益剰余金が381百万円、退職給付に係る調整累計額が71百万円及び非支配株主持分が155百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は46.7%（前連結会計年度末46.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想は、2020年6月24日に公表しました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の連結業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,414	2,891
受取手形及び売掛金	7,677	7,734
商品及び製品	5,674	5,611
仕掛品	1,284	1,127
原材料及び貯蔵品	2,786	2,409
その他	499	463
貸倒引当金	△15	△14
流動資産合計	19,322	20,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,354	3,106
機械装置及び運搬具(純額)	2,779	2,452
その他(純額)	3,049	3,248
有形固定資産合計	9,183	8,808
無形固定資産		
のれん	300	252
その他	220	210
無形固定資産合計	521	462
投資その他の資産		
投資有価証券	2,883	2,947
その他	1,746	1,719
貸倒引当金	△105	△100
投資その他の資産合計	4,524	4,566
固定資産合計	14,229	13,837
資産合計	33,551	34,062

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,617	3,308
短期借入金	1,844	1,660
1年内返済予定の長期借入金	2,358	2,390
未払法人税等	107	189
賞与引当金	219	134
その他	2,525	2,152
流動負債合計	10,672	9,835
固定負債		
長期借入金	3,225	4,186
退職給付に係る負債	1,647	1,646
その他	545	535
固定負債合計	5,417	6,368
負債合計	16,090	16,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,144	3,144
資本剰余金	2,966	2,966
利益剰余金	9,166	9,548
自己株式	△0	△200
株主資本合計	15,278	15,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	920	932
繰延ヘッジ損益	△47	△10
為替換算調整勘定	△346	△407
退職給付に係る調整累計額	△137	△65
その他の包括利益累計額合計	389	449
非支配株主持分	1,793	1,949
純資産合計	17,461	17,858
負債純資産合計	33,551	34,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	26,594	23,139
売上原価	20,904	18,397
売上総利益	5,689	4,741
販売費及び一般管理費	4,296	3,630
営業利益	1,393	1,111
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	42	40
為替差益	53	—
持分法による投資利益	150	50
その他	93	92
営業外収益合計	345	186
営業外費用		
支払利息	133	83
為替差損	—	146
その他	16	8
営業外費用合計	149	238
経常利益	1,588	1,059
特別利益		
固定資産売却益	18	—
貸倒引当金戻入額	29	—
関係会社株式売却益	6	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
固定資産除却損	4	4
関係会社株式売却損	2,752	—
減損損失	—	44
特別損失合計	2,757	48
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,113	1,011
法人税等	△551	248
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△562	762
非支配株主に帰属する四半期純利益	171	162
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△733	600

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△562	762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	13
繰延ヘッジ損益	△14	87
為替換算調整勘定	△440	△85
退職給付に係る調整額	1,817	67
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△7
その他の包括利益合計	1,270	75
四半期包括利益	708	838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	621	660
非支配株主に係る四半期包括利益	86	177

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式299,300株の取得を行いました。この取得により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が199百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が200百万円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得は、2020年5月29日をもって終了しました。

(追加情報)

当社グループは新型コロナウイルス感染症の影響について、前連結会計年度末においては夏頃に収束に向かい始めると仮定しておりましたが、当第3四半期連結会計年度末では本感染症の影響拡大や長期化による不確実性が高い状況にあります。本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、今後の拡大や収束時期等を予測することは困難な状況ですが、当社グループは当連結会計年度末にかけて徐々に感染拡大前の経営環境になると見込んでおり、翌期に影響が解消されるとの仮定の変更は行わず、繰延税金資産の回収可能性の評価等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

当社グループは、コラーゲン事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

当社グループは、コラーゲン事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

事業分離

当社は、2020年12月17日開催の取締役会決議に基づき、2021年2月1日付で、当社（接着剤事業（製造））を分割会社とし、ボスティック・ニッタ株式会社（以下、「ボスティック・ニッタ」という。）を分割承継会社とする会社分割を行いました。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

ボスティック・ニッタ株式会社

(2) 分離した事業の内容

接着剤事業（製造）

(3) 事業分離を行う主な理由

接着剤事業の更なる成長性を追求することを目的として、当社の接着剤事業をボスティック・ニッタに承継させるべく、第一段階として、当社は2018年8月1日に当社の行う接着剤事業（製造を除く）を会社分割（簡易吸収分割）の方法により、ボスティック・ニッタに承継させました。その後当社が売却した工場用地において接着剤事業の新工場の建設を完了し、本格稼働を開始しております。

そこで、当社の接着剤事業をボスティック・ニッタに承継させるべく、第二段階として、当社の行う接着剤事業のうち製造に付随する資産及び負債、契約上の地位及び権利義務並びに製造に主として従事する従業員を当社とボスティック・ニッタの間で行う会社分割の方法によりボスティック・ニッタに承継させることで合意しました。

(4) 事業分離日

2021年2月1日

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする事業譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損失の金額（予定）

0百万円

(2) 移転する事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳（予定）

流動資産	454百万円
固定資産	<u>1</u>
資産合計	<u>455</u>
流動負債	10
固定負債	<u>96</u>
負債合計	<u>117</u>

(3) 会計処理

譲渡の対価と移転した事業に係る株主資本相当額との差額を2021年3月期第4四半期連結会計期間において計上する見込みです。

3. 分離する事業が含まれている報告セグメントの名称

当社グループの事業セグメントは、コラーゲン事業の単一セグメントであるため、該当事項はありません。

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

	<u>累計期間</u>
売上高	1,842百万円
営業損失	123百万円